



2023年3月16日

株式会社 阿波銀行

株式会社藤井製材所の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社藤井製材所（代表取締役 藤井 圭、本社：徳島県板野郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社藤井製材所
所在地	徳島県板野郡上板町七條字栗ノ木前 30 番地 1
代表者	藤井 圭
業種	製材業
設立	1964年9月5日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年3月16日



株式会社藤井製材所 代表取締役 藤井 圭

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	職場の安全衛生の向上	労働災害の防止のために、社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。	① (1)安全衛生マネジメントシステムの推進 (2)安全衛生に関する研修の実施 (3)安全衛生パトロールの実施		
			② (1)2023年度までに目標作成および実施 (2)年4回実施・振り返り (3)1か月に2回実施		
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	① (1)廃棄物削減、リユース・リサイクル推進 (2)ペットボトル等の分別回収・リサイクル (3)ペーパーレス化の推進 (4)廃棄物の管理体制の強化		
			② (1)木くず等を回収し、2028年までに100% (2)リサイクル率100% (3)毎年、対前年度比5%削減 (4)2023年度までに責任者選任し、ルール策定のうえ活動内容を周知		
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	① (1)廃棄製品を回収し、原材料として再利用 (2)製品・サービスの環境に配慮した企画開発		
			② (1)2023年度までに廃材を使って3種類商品化 (2)2023年度までに2種類のキットを販売		
社会・経済	SDGsの取組みの表明	会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。	① (1)SDGs推進施策・目標の設定、モニタリングの実施 (2)SDGsの取組みのホームページで開示		
			② (1)年4回モニタリング実施および改善 (2)2023年度までに作成・公表		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。